

4. 平湯モデルのレイアウト 小規模小学校を例として

家具の並べかたで、 空間をやさしく、機能的に。



アプローチには掲示板と 展示台を置いて呼び迎える

木目の美しいパイン材のすのこ掲示板と展示台で、図書館の前をやさしく楽しそうにします。

親しみやすい家具を組合せて 楽しいコーナーも

イラストのように、カーペットと湾曲絵本架を組合せた「絵本とお話のコーナー」や、中学・高校ならば、ドーナツ型ベンチと雑誌架を組合わせた「ブラウジングのコーナー」など、家具を組合せることで、利用者のお気に入りになるような、楽しいところをつくりまします。

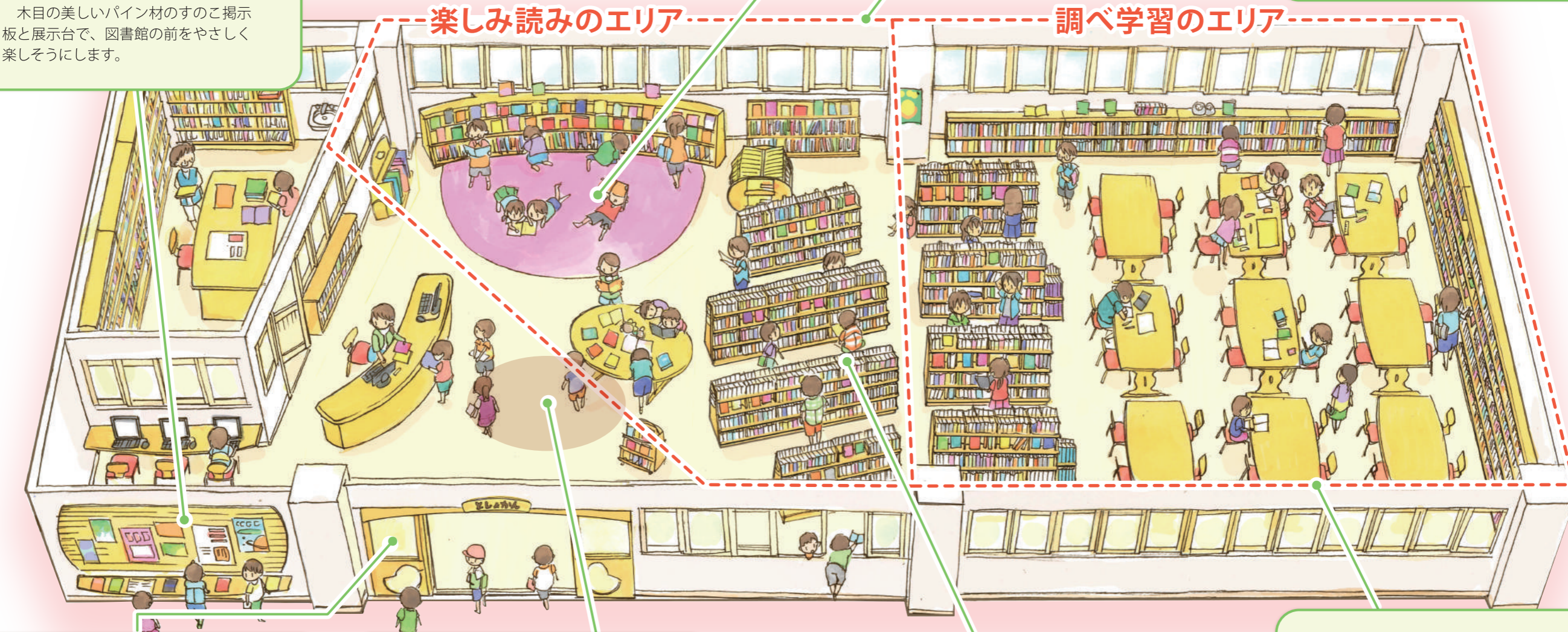
入ってすぐ見えるところを 「楽しみ読みエリア」に

9類、人気の本、話題の本、絵本などの魅力的な読み物の書架を、玄関からすぐ見えるところに置いて、利用者を引きつけます。まずは読書の楽しさに触れてもらうための「楽しみ読みエリア」です。

平湯モデルの床置中書架は、4～5段を確保していても視線をさえぎらないので、手前に置いてもしっかりしています。

楽しみ読みのエリア

調べ学習のエリア



玄関は透明にして 館内がよく見えるように

楽しい館内が、子どもの目線からもよく見えて、中に入りたくなるように、床まで透明の玄関にします。自然のまま色をつけない生地仕上げの木枠をつけると、より温かくすっきりとした玄関になり、利用も増えます。

入ったところは広々と 本の貸し借りもしやすく

入ってすぐのところを広くとさせ、やさしいデザインのカウンターも置いて、利用者を迎え入れます。カウンターの前は生徒が並ぶので、広いスペースが必要です。その奥には、わくわくするような本をのせた展示台も置きます。

家具をやさしく配置して 奥まで誘い込む

直角、平行、シンメトリーなどのかたいレイアウトを一部崩して、図書館の奥まで誘い込むようなやさしい動線を作ります。

静かで落ちついた奥に 「調べ学習のエリア」を

奥の静かなところには閲覧机を置き、理科や社会などの資料でとり囲みます。調べて学ぶ喜びを知るための「調べ学習のエリア」です。資料を広げられるよう、テーブルは4人掛けにします。調べ学習を定着させるには、中規模校以上で、同時に2クラス分以上が使えるだけの閲覧席が必要です。